

令和7年度

授業シラバス・
年間指導計画

英語
(3年)

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅢ Ⅲ 英コミュ	3	教科書: LANDMARK Communication English Ⅲ [啓林館] 副教材: Aim High Vol.1 (英漢社)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域（聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り）・話すこと（発表）・書くこと）において言語活動及びこれらと結び付けた総合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	---

授業形態 アドバイス など	このコースの授業です。3年次の英語コミュニケーションⅢの授業は、1・2年次で学習した内容を発展させたものになります。1・2年で学習した内容で理解できていないところがあると英語コミュニケーションⅢではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。前課をしっかりとしましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
見てたい授業 （授業・能力との関連）	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	L.M.L 3 Saving Our Treasures from the Sea	・世界遺産ベニスと島神社を支える科学技術について概要や詳細を理解する。	・江戸の津波に強い雨が降る暮らしをする上で何ができるか、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	・未来の世代にどのような無形遺産を保存したいかについて自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	A.H.L9 肉の消費と環境問題	・肉の消費が環境を害する行動となり得ることを理解する。	・人間が地球環境に与える負荷について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	・人間が地球環境に与える負荷について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L.M.L4 Men's Brains vs. Women's Brains	・「男女の脳の違いは本質にあるのか」について概要や詳細を理解する。	・ステレオタイプの要因やそれを克服する方法について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	・ステレオタイプの要因やそれを克服する方法について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	A.H.L10 座り込み運動	・人権差別を禁じる公民権法について概要や詳細を理解する。	・人権差別について読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	・座り込み運動について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L.M.L5 Political Correctness	・差別や偏見のない中立的な用語の利点と問題点について概要や詳細を理解する。	・差別や偏見のない中立的な用語に関して、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	・別や偏見のない中立的な用語に関して、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	A.H.L11 おもちゃの歴史	・千年前のおもちゃから現代のおもちゃへの変化について概要や詳細を理解する。	・現代のおもちゃに関して読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	・現代のおもちゃに関して自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L.M.L6 Jose Mujino : The World's Poorest President	・「世界一貧しい大統領」と呼ばれたホセ・ムヒカについて概要や詳細を理解する。	・今日の日本人が幸せかについて、話したり書いたりして表現することができる。	・今日の日本が幸せかについて自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	A.H.L12 ネアンデルタール人の骨	・ネアンデルタール人の骨から明らかになることについて概要や詳細を理解する。	・骨からわかる彼らの進化についてどう思うか、話したり書いたりして表現することができる。	・DNAの研究について自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L.M.L7 Where Did Dogs Come from?	・「オオカミがどのように進化して犬が生まれたのか」を解き明かす研究の概要や詳細を理解する。	・生き残るために適応したり、絶滅の危機に瀕している動物について、話したり書いたりして表現することができる。	・もしもペットになるなら、どのような動物や飼い主がよいか自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	A.H.L13 科学者の信頼	・科学者による徹底的な検証により科学は誠実であり続けることについて概要や詳細を理解する。	・現代の生活を支える科学について、話したり書いたりして表現することができる。	・現代の生活を支える科学について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L.M.L9 Extinction of Language	・文化や伝統そのものである言語絶滅の危機について、概要や詳細を理解する。	・言語が絶滅の危機にある理由について、話したり書いたりして表現することができる。	・英語は少数言語にとって代わるべきかについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。

	A.H.L14 宇宙飛行士 L.M.L10 Light Pollution A.H.L15 フューチャーライブラリー A.H.L16 過屈	・現代の宇宙飛行士について概要や詳細を理解する。 ・光害がもたらすさまざまな問題点について、概要や詳細を理解する。 ・フューチャーライブラリーとは何か、その目的は何かについて概要や詳細を理解する。 ・過屈すると人は糖や脂肪の多い食べ物を求め、現代では不健康な食品遊びにつながりうることにについて概要や詳細を理解する。	・宇宙開発について、話したり書いたりして表現することができる。 ・夜を守るためにできる行動について、話したり書いたりして表現することができる。 ・紙の本を未来に残す取り組みについて、話したり書いたりして表現することができる。 ・現代の食について、話したり書いたりして表現することができる。	・宇宙開発やNASAの取り組みについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。 ・明るい夜と暗い夜のどちらが好ましいか自分の考えを話して伝えることができるようにする。 ・紙の本を未来に残す取り組みについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。 ・現代の食について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
備考				

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	英語コミュニケーションⅢ (R 英コミュ)	3	教科書: I LANDMARK Communication English Ⅲ (啓林館) 副教材: HEO 現代を読む(いろいろな書店)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下のうちの領域において言語活動及びこれらと結び付いた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ① 外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。(知識・技能) ② 場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。(思考力・判断力・表現力) ③ 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。(主体性)
--------	--

授業形態 アドバイス など	Rコースの授業です。2年次の英語コミュニケーションⅢの内容をさらに発展させたものです。徹底的に反復学習しましょう。予習・授業・復習という学習スタイルが入試を攻略する英語力につながります。すぐに辞書に頼らずに、入試しながら、まずは、自力のみで英文を読む習慣をつけましょう。速読、パラグラフリーディングなど、多量の英文を速く正確に読み、要旨をつかむ練習をしていきましょう。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育った生徒の (資質・能力) との関連	読解力:幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力:論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力:思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力:多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力:自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	L3 Saving Our Treasures From the Sea	水害対策が対照的な2つの世界遺産について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	水害対策が対照的な2つの世界遺産について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	水害対策が対照的な2つの世界遺産について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	NEO Unit 9 Gender	子ども服の性差の変遷について必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	子ども服の性差の変遷について意見交換ができる。また、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	子ども服の性差の変遷について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L4 Men's Brain vs. Women's Brain	男女の違いを脳構造に帰する科学的根拠のない考えが広まった背景について書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	男女の違いを脳構造に帰する科学的根拠のない考えが広まった背景について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	男女の違いを脳構造に帰する科学的根拠のない考えが広まった背景について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	NEO Unit 10 Differences	異文化間の真意の伝え方に関する違いについて説明した文章を読んで、概要を把握することができる。	異文化間の真意の伝え方に関する違いについて説明した文章を読んで、情報や考えを論理的に伝え合うことができる。	異文化間の真意の伝え方に関する違いについて説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	L5 Political Correctness	ポリティカル・コレクトネスとその適度の広がりについて述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	ポリティカル・コレクトネスとその適度の広がりについて述べられた文章を読んで、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	ポリティカル・コレクトネスとその適度の広がりについて、自分の考えを積極的に相手に伝えることができるようにする。
	NEO Unit 11 Hope	地雷で足を失った少女の地雷使用抵抗運動について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	地雷で足を失った少女の地雷使用抵抗運動について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	地雷で足を失った少女の地雷使用抵抗運動について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L6 Jose Mujica: The World's Poorest President	ホセ・ムヒカの有名な演説と日本の大学生に向けたメッセージを読んで、内容を理解することができる。	ホセ・ムヒカの有名な演説と日本の大学生に向けたメッセージについて、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	ホセ・ムヒカの有名な演説と日本の大学生に向けたメッセージを読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。
	NEO Unit 12 Concrete	コンクリートの文化的・社会的価値と、広範な使用による環境問題について述べられた文章を読んで、内容を理解することができる。	コンクリートの文化的・社会的価値と、広範な使用による環境問題について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	コンクリートの文化的・社会的価値と、広範な使用による環境問題について説明した文章を読んで、自分の考えを効果的に発表することができる。

読 期	L7 Where Did Dogs Come from?	「人間の最良の友」である犬が、野生のオオカミからどのように変化したかについて書かれた文章を読んで、概要を把握することができる。	「人間の最良の友」である犬が、野生のオオカミからどのように変化したかについて、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	「人間の最良の友」である犬が、野生のオオカミからどのように変化したかについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	NEO Unit 13 Surveillance Cameras	「円形刑務所」のように常時監視によって秩序を保つことについて書かれた文章を読んだ、概要を把握することができる。	「円形刑務所」のように常時監視によって秩序を保つことについて、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	「円形刑務所」のように常時監視によって秩序を保つことについて、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L8 The Story of My Life	ヘレン・ケラーが「愛」という言葉の意味を理解していく過程について書かれた文章を読んだ、概要を把握することができる。	ヘレン・ケラーが「愛」という言葉の意味を理解していく過程について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	ヘレン・ケラーが「愛」という言葉の意味を理解していく過程について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	NEO Unit 14 Business	天文学者の提唱する最善の飛行機搭乗手順について書かれた文章を読んだ、概要を把握することができる。	天文学者の提唱する最善の飛行機搭乗手順について、読んだことを基に、話したり書いたりして表現することができる。	天文学者の提唱する最善の飛行機搭乗手順について、自分の考えを話して伝えることができるようにする。
	L9 Extinction of Languages	少数言語の消滅危機とその保護について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	少数言語の消滅危機とその保護について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	少数言語の消滅危機とその保護について説明した文章を読んだ、自分の考えを効果的に発表することができる。
	NEO Unit 15 Mars	電磁シールドを利用した火星地球化計画案について、必要な情報を聞いたり、読んだりして、概要を把握することができる。	電磁シールドを利用した火星地球化計画案について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	電磁シールドを利用した火星地球化計画案について説明した文章を読んだ、自分の考えを効果的に発表することができる。
	L10 Light Pollution	人工の光が自然界に与える「光害」について説明した文章を読んだ、概要を把握することができる。	人工の光が自然界に与える「光害」について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	人工の光が自然界に与える「光害」について説明した文章を読んだ、自分の考えを効果的に発表することができる。
	NEO Unit 16 Biology	軍事科学が証明しようとしているクジラの歌について説明した文章を読んだ、概要を把握することができる。	軍事科学が証明しようとしているクジラの歌について、自分の意見を論理的に書いて伝えることができる。	軍事科学が証明しようとしているクジラの歌について説明した文章を読んだ、自分の考えを効果的に発表することができる。
備考				

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	論理・表現Ⅲ(論理・表現ⅢL)	2	be English Logic and Expression Ⅲ Clear アップリフト英作文 入試基本

学習のねらい	「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。 ①外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ②場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ③外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
--------	---

授業形態 アドバイス など	「論理・表現Ⅲ」での学習内容をさらに深め、様々な場面や状況設定において、論理の構成や展開を意識して自分の考えを述べたり、書いて伝えたりする機会を多く設けます。それらの活動に積極的に参加し、自分自身の考えや気持ちなどを表現することが大切です。徐々に多くの内容を述べたり、書いて伝えたりできるように努力してみましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	習得すべき知識や概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
着たい成果 (学習 成長)との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通期	LESSON 1 A City Worth Visiting	街を紹介する ・受動態を適切に使う ・伝えたいことに応じて、受動態を正しく使う。	・国内外の街に関する文章について、情報を整理し理解する。	・国内外の街について話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 2 Our Hometowns	生まれ育った街について話す ・動詞の形を意識する。 ・伝えたいことに応じて、動詞を正しい形で使う。	・街の課題に関する文章について、情報を整理し理解する。	・街の課題について話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 3 What Makes a City Attractive?	魅力ある街づくりの提案 ・話し手がどう思っているか助動詞で表す。 ・伝えたい意味に応じて助動詞を正しく使う。	・街づくりの提案に関する文章について、情報を整理し理解する。	・街づくりの提案について話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 4 How Do You Spend Your Time?	時間の過ごし方 ・何と何を比べているのか意識する。 ・伝えたい意味に応じて、適切に比較の表現を使う。	・ひとり時間の過ごし方に関する文章について、情報を整理し理解する。	・ひとり時間の過ごし方について話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 5 Try Something New	スポーツを始める ・比較級の前で差の程度を表す。 ・伝えたいことに応じて、差の程度を正しく表現する。	・スポーツについて情報を整理し理解する。	・スポーツについて話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 6 The Art of Translation	翻訳が伝えるもの ・副詞や形容詞で程度を表す。 ・伝えたい程度に応じて、副詞や形容詞を正しく使う。	・映画の日本語版と英語版の違いについて情報を整理し理解する。	・映画の日本語版と英語版の違いについて話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 7 Combating Climate Change	気候変動について考える ・関係代名詞を使って名詞に説明を加える。 ・伝えたい意味に応じて、適切な関係代名詞を用いて文を作る。	・環境問題について情報を整理し理解する。	・環境問題について話したり、文章を書いたりする。
	LESSON 8 Future Energy Sources	これからのエネルギー源 ・分詞で名詞に説明を加える。 ・伝えたい意味に応じて分詞を正しく使う。	・再生可能エネルギー、洋上電力発電について情報を整理し理解する。	・再生可能エネルギー、洋上電力発電について話したり、文章を書いたりする。

LESSON 9 Discussing the Environment	環境問題について話し合う ・不定詞で名詞に説明を加える ・伝えたい意味に応じて、不定詞を正しく使う。	・環境問題に関する意見について 情報を整理し理解する。	・環境問題に関する意見について話したり、文章を書いたりする。
LESSON 10 Globalization and Immigration	グローバル化のためにできること ・不定詞で「～すること」を表す。 ・伝えたい意味に応じて、不定詞 を用いて文を作る。	・外国人労働者の受け入れ について 情報を整理し理解する。	・外国人労働者の受け入れ について話したり、文章を書いたりする。
LESSON 11 What Is Fair Trade?	フェアトレード ・動名詞で「～すること」を表す。 ・伝えたい意味に応じて、動名詞 を用いて文を作る。	・フェアトレード について 情報を整理し理解する。	・フェアトレード について話したり、文章を書いたりする。
LESSON 12 Helping to Fight Poverty	貧困のない世界へ ・不定詞に動詞のはたらきをさせる。 ・伝えたい意味に応じて、動詞のはたらきをする不定詞 を正しく使う。	・世界の貧困 について 情報を整理し理解する。	・世界の貧困 について話したり、文章を書いたりする。
備考			

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	論理表現Ⅲ （R 論表Ⅲ）	2	教科書: the English Logic and ExpressionⅢ [いいずな書店] 副教材: Write to the Point [数研出版]

学習のねらい	「論理・表現Ⅰ、Ⅱ」の学習内容を踏まえ、「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。 具体的な活動と領域は以下の通り。 (1) 話すこと〔やり取り〕 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 (2) 話すこと〔発表〕 日常的・社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝えることができるようにする。 (3) 書くこと 日常的・社会的な話題について、複数の資料を活用して、段階的な手順を踏みながら、読み手を説得することができるよう、意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに、複数の段落を用いて書いて伝えることができるようにする。
--------	--

授業形態 アドバイス など	R コースの授業です。3年次の論理表現Ⅲの授業は、2年次で学習した内容をさらに発展させたものです。2年次までに学習した内容（文法・構文など）で理解できていないところがあると論理表現Ⅲでは表現活動が限られてしまいます。復習も必ず必要です。日本語を正しい表現を使って英語に換える力もつけましょう。
---------------------	---

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	〔知識〕 英語の特徴やさまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 〔技能〕 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。
育てたい生徒像 （資質・能力）との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力

主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検	
学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Lesson 1 A city Worth Visiting	[読むこと] ・国内外の街に関する文章について、情報を理解し整理する。 [聞くこと] ・街の課題に関する文章について、情報を理解し整理する。 ・「少ない」「増えている」などの例文を読んで理解する。	[話すこと] ・国内外の街について話す。 [書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・国内外の街について論理的な構成や展開を工夫して書いて伝える。 ・受動態を正しく使う。 [書くこと] ・街の課題について、伝えたいことに応じて、動詞を正しい形で使って書く。 [書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	Lesson 2 Our Hometown (Write to the Point) L1	[読むこと] ・街作りの提案に関する文章について、情報を整理し、理解する。 [聞くこと] ・一人の時間の過ごし方に関する文章について、情報を整理し理解する。 ・一般論を述べるときの主語の決定について例文を読んで理解する。	[話すこと] ・街づくりの提案について話す。 [書くこと] ・一人の時間の過ごし方について話す。 [書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・街づくりの提案について伝えたい意味に応じて、助動詞を正しく使って書く。 [書くこと] ・一人の時間の過ごし方について、伝えたい意味に応じて適切に比較の表現を使って書く。 [書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	Lesson 3 What Makes a City Attractive?	[読むこと] ・スポーツについて、情報を理解し整理する。	[話すこと] ・スポーツについて話す。	[書くこと] ・スポーツについて、伝えたいことに応じて、差の程度を正しく表現する。
	Lesson 4 How Do You Spend Your Time? (Write to the Point) L2	[読むこと] ・映画の日本語版と英語版の違いについて、情報を整理し理解する。	[話すこと] ・映画の日本語版と英語版の違いについて話す。	[書くこと] ・映画の日本語版と英語版について書く。伝えたい程度に応じて、動詞や形容詞を正しく使う。
	Lesson 5 Trying Something New.	[読むこと] ・「～するために」「～しないように」の表現を例文を読んで理解する。	[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	Lesson 6 The Art of Translation (Write to the Point) L3			

後期	Lesson 7 Combating Climate Change	[読むこと] ・環境問題について、情報を整理し理解する。	[書くこと] ・環境問題について、名詞に関係代名詞を使って説明を加えながら話す。	[書くこと] ・環境問題について、伝えたい意味に応じて、適切な関係代名詞を用いて文を作る。
	Lesson 8 Future Energy Sources	[聞くこと] ・再生可能エネルギー・洋上風力発電について、情報を整理し理解する。	・再生可能エネルギー・洋上風力発電について、名詞に分詞で説明を加えながら話す。	[書くこと] ・再生可能エネルギー・洋上風力発電について、伝えたい意味に応じて、分詞を正しく使う。
	(Write to the Point) 1.4	・「～のために」「～のおかげで」の表現を例文を読んで理解する。	[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	Lesson 9 Discussing the Environment	[読むこと] ・環境問題に関する意見について、情報を整理し理解する。	[話すこと] ・環境問題に関する意見について不定詞で名詞に説明を加えながら話す。	[書くこと] ・環境問題について、伝えたい意味に応じて、不定詞を正しく用いて書く。
	Lesson 10 Globalization and Immigration	[聞くこと] ・外国人労働者の受け入れについて、情報を整理し理解する。	・外国人労働者の受け入れについて、不定詞を用いて話す。	[書くこと] ・外国人労働者の受け入れについて、伝えたい意味に応じて、文を作る。
	(Write to the Point) 1.5	・時制に注意して、例文を理解することができる。	[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	(Write to the Point) 1.6	・be going to と will の使い分けを例文を読んで理解する。	[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
	(Write to the Point) 1.7	・動詞の語法について例文を読んで理解する。	[書くこと] ・正しい表現を使って日本語を英語に直すことができる。	[書くこと] ・ペア・グループで協力しながら正しい英文を書く。
備考				

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教材
英語	ABLE B	1	Jet Reading 英語速読テスト Level 3（数研出版） Speaking Gyn Standard（数研出版）

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなぎ付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	--

授業形態 アドバイス など	普通科文系の選択科目です。予習を前課とせず、その場で辞書を使用せずに速読長文を初見読みし、実戦的な読解力を育成します。また、長文の主題に関して、ペア・ワークで意見交換をすることによって、表現力と発信力を高めますので、積極的に自分の考えを英語で話すようにして下さい。同様に、長文の主題に関する、パラグラフ・ライティングにも挑戦します。4技能をバランス良く伸ばしていきたいでしょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい生徒像 （資質・能力との関連）	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○課題考査 ○小テスト ○パフォーマンス・テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	Activity 1 Lesson 1 (教育/エッセイ)	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。
	Activity 2 Lesson 2 (歴史/説明文)	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとりえ、正しく聞き取ることができる。	・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。
	Activity 3 Lesson 3 (文化/説明文)	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。	・聞いた内容について正しく理解することができる。	・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。
	Challenge 1 Lesson 4 (仕事/ノール)	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。		・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	Activity 4 Lesson 5 (歴史/説明文)		【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	Activity 5 Lesson 6 (科学/評論)	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	Activity 6 Lesson 7 (社会/グラフ)	・文や文庫を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。
	Challenge 2 Lesson 8 (文化/物語)	・言語や音韻の運用についての基本的な知識を身に付けている。	・日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
	Activity 7 Lesson 9 (スポーツ/伝記)	・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。	【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。	・必要に応じて辞書などを活用している。
	Activity 8 Lesson 10 (生活/広告)	・文字や符号を識別する知識を身に付けている。	・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
		・場面や状況に応じた表現を知っている。		・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。
		・文章の流れについての知識がある。		【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。

提 問	Activity 9 Lesson 11 (文化/説明文) Challenge 3 Lesson 12 (科学/評論) Activity 10 Lesson 13 (生活/メール) Activity 11 Lesson 14 (社会/説明文) Activity 12 Lesson 15 (医療/説明文) Challenge 4 Lesson 16 (生活/文) Activity 13 Lesson 17 (社会/説明文) Activity 14 Lesson 18 (言語/評論) Activity 15 Lesson 19 (歴史/説明文) Lesson 20 (社会/説明文) Challenge 5 Lesson 21 (経済/説明文) Lesson 22 (歴史/説明文)	している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【話すこと】 ・言語や文法の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【書くこと】 ・「書くこと」の英語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。	・文法に従って正しく話すことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。 ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に答えることができる。 ・場面や目的に応じて適切な長さや声の大きさで話すことができる。 ・相手の理解を確認しそれに従って話すことができる。 【書くこと】 ・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・文法に従って正しく書くことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 ・内容を整理し、必要な分書を書くことができる。 ・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って話している。 ・関心をもって質問している。 ・ペアワークやグループワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・つなぎ言葉をを用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。 【書くこと】 ・「書くこと」の英語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考				

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科・理数科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	スルーリーディングⅠ	1	Hyper Listening Pre-Advanced(桐原書店) Reading Core for 共通テスト(啓隆社)

学習のねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の6つの領域において言語活動及びこれらと結び付いた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
--------	---

授業形態 アドバイス など	スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい資質 (資質・能力) との関連	教養力：幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に振り返り、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な 評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 目的に合わせて必要な情報を読み取る	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	2 情報を事実と意見に整理する	・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。	・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。	・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。
	3 目的に合わせて必要な情報を読み取る	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。	・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。
	4 論理の構成、展開に配慮し文章を修正する	・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。	・聞いた内容について正しく理解することができる。	・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。
	5 複数の資料を読み考察する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している	【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。	・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	6 資料を活用しアウトラインを細み立てる	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。	日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。	・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	7 概要や要点をとらえる	・又や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。	正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	8 文章を要約する	・英語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。	日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。	・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。
	9 目的に合わせて必要な情報を読み取る	・場面や状況による姿勢やイントネーションの違いを理解している。	【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。	・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
	10 情報を事実と意見に整理する	・文字や符号を速に理解する知識を身に付けている。	正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。	・必要に応じて辞書などを活用している。
後期	11 目的に合わせて必要な情報を読み取る	・場面や状況に応じた表現を知っている。	文法に従って正しく話すことができる。	さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。
	12 情報を事実と意見に整理する	・文章の流れについての知識がある。	伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。	・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。
	13 読み取った内容を時系列に整理し、目的に合わせて必要な情報を読み取る	・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。	日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。
	14 論理の構成、展開に配慮し文章を修正する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。	・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。
	15 複数の資料を読み考察する	・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。	日常的な話題について、	・自ら学んだ表現や進んで

16資料を活用しアウトラインを 組み立てる 17概要や要点をとらえる 18文章を要約する 19-20読読を独り意識し目的 に合わせて必要な情報を正確 に読み取る	【話すこと】 - 英語や言語の運用につ いての基本的な知識を 身に付けている。 - 場面や状況による語勢 やイントネーションの違 いを理解している。 - 場面や状況に応じた表 現を知っている。 - 「話すこと」に用いられる 語句や文法を知ってい る。 - 日常的な話題について、 英語の学習で取り扱わ れた文化について理解 している。 - ジェスチャーなど非言語 的なコミュニケーション 手段の役割や用い方を 理解している。 - 日常的な話題について、 英語の学習で取り扱わ れた文化について理解 している。 【書くこと】 - 「書くこと」の言語活動に 積極的、主体的に取り 組んでいる。 - 間違えることを恐れず自分 の考えなどを書してい る。 - 自ら進んで書いたものを 読み直し、意欲的に書 き直したりしている。 - 自ら学んだ表現や進ん で集めた情報などを使 って書いている。 - 必要に応じて辞書などを 活用している。 - さまざまな工夫をするこ とで、コミュニケーション を主体的に続けようと している。 - よりうまく伝わるように、 別の語句や表現で言い 換えたり、説明して伝 えるなどの工夫をして いる。 - 表現できないところがあ っても知っている語句や 表現を用いて書き続け ている。	場面や目的に応じて、 英語で適切に話すこと ができる。 - 伝えたい内容、場面、相 手、目的などに応じて 語句や表現を選択し 適切に話すことができ る。 - 相手の発話に対して適 切に回答することがで きる。 - 場面や目的に応じて適 切な速さや声の大き さで話すことができる。 - 相手の理解を確認しそ れに応じて話すこと ができる。 【書くこと】 - 日常的な話題について、 得た情報や自分の考 えを英語で正しく書 くことができる。 - 文法に従って正しく書 くことができる。 - 伝えたい情報や考えなど を正確に書くことが できる。 - 日常的な話題について、 場面や目的に応じて、 英語で適切に書くこ とができる。 - 内容を整理し、必要な 分量を書くことが できる。 - 伝えたい内容、場面、読 み手、目的などに応 じて、語句や表現を選 択し適切に書くこと ができる。 - 文のつながりや構成を 考えた文章を書くこ とができる。	集めた情報などを使っ て話している。 - 関心をもって質問してい る。 - ペア・ワークやグループ ワークなどにおいて積極 的に話し合ったり意見 の交換をしている。 - さまざまな工夫をするこ とで、コミュニケーションを 主体的に続けようとし ている。 - うまく言えないことがあ っても、別の語句や表現 で言い換えたり、説明し て伝えるなどの工夫を している。 - つなぎ言葉を用いるな ど、不自然な沈黙を せず話し続けている。 【書くこと】 - 「書くこと」の言語活動に 積極的、主体的に取り 組んでいる。 - 間違えることを恐れず自分 の考えなどを書してい る。 - 自ら進んで書いたものを 読み直し、意欲的に書 き直したりしている。 - 自ら学んだ表現や進ん で集めた情報などを使 って書いている。 - 必要に応じて辞書などを 活用している。 - さまざまな工夫をするこ とで、コミュニケーションを 主体的に続けようとし ている。 - よりうまく伝わるように、 別の語句や表現で言い 換えたり、説明して伝 えるなどの工夫をして いる。 - 表現できないところがあ っても知っている語句や 表現を用いて書き続け ている。
備考			

令和7年度 岡山県立倉敷天城高等学校 普通科3年 シラバス

教科名	科目名（校内名称）	単位数	教 材
英語	スルーリーディング R	1	Hyper Listening Pre-Advanced (東洋館書店) Smart Reader Standard (いづな書店)

学習の ねらい	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の6つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 ①外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解できるようにする。（知識・技能） ②場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。（思考力・判断力・表現力） ③外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりしようとしている。（主体性）
------------	---

授業形態 アドバイス など	スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。
---------------------	--

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の基本的な考え方	外国語の4技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり、適切に伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対して理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを聞いたり、読んだり、話したり書いたりしようとしている。
育てたい資質・能力との関連	教養力・幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能	思考力：論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 表現力：思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	協働力：多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力 省察力：自らの行動を振り返り改善し前に踏み出す力
主な評価方法	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○定期考査 ○小テスト ○授業・発表内容の観察 ○授業ノート・提出課題の点検	○授業・発表態度の観察 ○プレゼンテーションの観察 ○提出課題の点検

学期	学習内容	学習の到達目標		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	1 主格の関係代名詞で名節を修飾する	【聞くこと】 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「聞くこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的なコミュニケーション手段の役割や使い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している	【聞くこと】 ・理解できないとき、確認したり、繰り返しや説明を求めたりしている。 ・日常的な話題についての英語を聞いて、情報や考えなど相手が伝えようとしていることを正確に理解することができる。 ・リズムやイントネーションなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ることができる。 ・聞いた内容について正しく理解することができる。	【聞くこと】 ・「聞くこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・相手を見て話を聞いたり、必要に応じてメモを取るなど、相手の話に関心を持っている。 ・聞いたことについてジェスチャーや簡単なことばで応答したりしている。 ・聞いた内容について意見や感想を述べようとしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。
	2 目的格の関係代名詞で名節を修飾する			
	3 所有格の関係代名詞で名節を修飾する			
	4 関係代名詞の前に前置詞が入る			
	5 名詞に主語+動詞が直接続く			
	6 不定詞を使って名節を修飾する			
	7 過去分詞を使って名節を修飾する			
	8 現在分詞を使って名節を修飾する			
	9 名詞に前置詞句が続く			
	10 名詞修飾のポイントが節の中に複数ある			
後期	11 名詞修飾のポイントが文の中に複数ある	【読むこと】 ・読んだ内容について概要や要点を把握することができる。 ・文や文章を目的に応じた適切な速さで読み取ることができる。 ・言語や文法の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・文字や符号を識別する知識を身に付けている。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・文章の流れについての知識がある。 ・「読むこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している	【読むこと】 ・理解できないところがあっても、推測するなどして読み続けている。 ・日常的な話題についての英語を正しく音読したり暗唱したりすることができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、音読したり暗唱したりすることができる。 ・日常的な話題についての英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読したり暗唱したりすることができる。 【話すこと】 ・日常的な話題について英語で情報や考えなどを正しく話すことができる。 ・正しいリズムやイントネーションなどを用いて、話すことができる。 ・文法に従って正しく話すことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に話すことができる。 ・日常的な話題について、	【読むこと】 ・「読むこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・必要に応じてメモを取るなど、読んでいる内容に関心をもっている。 ・読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・音読や暗唱に積極的に取り組んでいる。 【話すこと】 ・「話すこと」の言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを話している。 ・自ら学んだ表現や進んで
	12 同格の that 節で内容を述べる			
	13 関係代名詞 what を使って名詞節を作る			
	14 動名詞が主語になる			
	15 whether を使って名詞節をつくる			
	16 形式主語の it を使う			
	17 形式目的語の it を使う			
	18 it is ~ that... の強調構文を使う			
	19 比較表現を使う			
	20 仮定法を使う			
	21 so ~ that... を使う			
	22 not only ~ but also... を使う			
	23 否定語が文頭に出て倒置が起こる			
	24 文の要素の順番が変わる			
	25 (the+ 比較級, the+ 比較級) の構文を使う			
	26 that 節を and で結ぶ			
	27 等位接続詞で共通関係をつくる			
	28 関係代名詞の非限定用法を使う①			
	29 関係代名詞の非限定用法を使う②			
	30 分詞を使って補足説明を加			

える 31 分詞を使って副詞的な意味を表す 32 with を使って付帯状況を表す 33 〈動詞+名詞+不定詞〉の語順を使う 34 〈動詞+名詞+動詞の原形〉の語順を使う 35 〈動詞+名詞+補語〉の語順を使う	【話すこと】 ・言語や文法の運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・場面や状況による強勢やイントネーションの違いを理解している。 ・場面や状況に応じた表現を知っている。 ・「話すこと」に用いられる語句や文法を知っている。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 ・ジェスチャーなど非言語的コミュニケーション手段の役割や用い方を理解している。 ・日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。	場面や目的に応じて、英語で適切に話すことができる。 ・伝えたい内容、場面、相手、目的などに応じて語句や表現を選択し適切に話すことができる。 ・相手の発話に対して適切に回答することができる。 ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさで話すことができる。 ・相手の理解を確保しそれに応じて話すことができる。 【書くこと】 ・日常的な話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・文法に従って正しく書くことができる。 ・伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる。 ・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に書くことができる。 ・内容を整理し、必要な分量を書くことができる。 ・伝えたい内容、場面、読み手、目的などに応じて、語句や表現を選択し適切に書くことができる。 ・文のつながりや構成を考えた文章を書くことができる。	集めた情報などを使って話している。 ・関心をもって質問している。 ・ペア・ワークやグループ・ワークなどにおいて積極的に話し合ったり意見の交換をしている。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・うまく言えないことがあっても、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・つなぎ言葉を用いるなど、不自然な沈黙をせず話し続けている。 【書くこと】 ・「書くこと」の言語活動に積極的に、主体的に取り組んでいる。 ・間違えることを恐れず自分の考えなどを書いている。 ・自ら進んで書いたものを読み直し、意欲的に書き直したりしている。 ・自ら学んだ表現や進んで集めた情報などを使って書いている。 ・必要に応じて辞書などを活用している。 ・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを主体的に続けようとしている。 ・よりうまく伝わるように、別の語句や表現で言い換えたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。 ・表現できないところがあるかも知っている語句や表現を用いて書き続けている。
備考			